



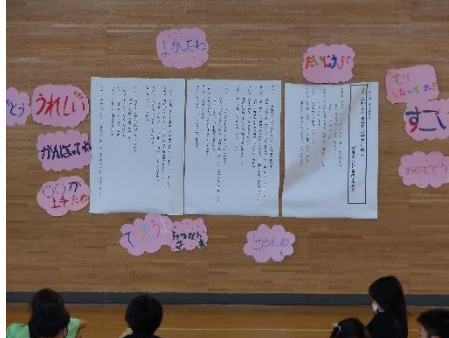
ふわふわ言葉とひこうき雲

9月14日（水）澄み切った青空が美しい気持ちのよい1日になりました。業間、校庭から空を見上げると飛行機がきれいなシュプールを描いて、美しい青空のキャンパスにすてきな模様を描いていました。「ひこうき雲」荒井由実さんの代表曲の1つです。



10月の音楽発表会に向けて、どの学級からも合唱や合奏が聞こえる季節になりました。2年間、コロナ禍でできなかった音楽発表会。今年は「分散型」ではありますが、10月に学級ごとの発表を保護者の皆様にも参観していただく予定です。写真中は今朝の音楽集会。3年生の子どもたちが担任の先生と一緒に合唱に取り組んでいる様子。先生の指揮を見て一生懸命歌っています。先生が指揮をすることで、学級の子どもたちと担任の先生の心が1つになっていきます。

また、業間には、自主的に楽器の練習に取り組む子どもたちの姿も見られるようになりました。目標がある、ということはとてもよいこと。特に音楽は「誰かに伝える」という表現の場は、とても大切なことを子どもたちや先生方の姿から改めて感じています。



12日（月）には今年度2回目の代表委員会が体育館で行われました。議題は「ふわふわ言葉をふやすためにできることを考えよう」です。3年生以上の学級代表のみなさんが参加し、自分たちの学級の考えや増やすための方法について熱心に話し合いました。計画委員のみなさんの進め方や委員会の代表で参加している委員長さんの発言に高学年の子どもたちがとても育っていることを実感することができました。話し合いの結果、動画を作成することに決まりましたが、どんな動画になるかとても楽しみです。

さて、業間の校庭の主役はもちろん子どもたちですが、この日の主役は写真の先生。業間、子どもたちと一緒に外に出て、次々と子どもたちの逆上がりの補助をしてくださっていました。授業を終え、ほっと一息入れたいところではありますが……。業間や昼休みもこのような先生方が多い小野小なの子どもたちの回りにはいつも「ふわふわ言葉」で一杯なのだと思います。

ただ、あまり無理をしないように……

（文責：手代木）